

「洪水の予告とノアへのみ告げ」

2020年11月11日

神はノアに言われた。「すべての肉なるものの終わりが、私の前に来ている。彼らのゆえに地は暴虐で満ちているからである。今こそ、私は地と共に彼らを滅ぼす。(創世記 6 章 13 節) だが、私はあなたと契約を立てる。あなたは、息子たち、妻、息子の妻たちと一緒に箱舟に入りなさい。(創世記 6 章 18 節)」入ったものは、すべての肉なるものの雄と雌であった。神がノアに命じられたとおりであった。そこで主は、その後ろの戸を閉じられた。(創世記 7 章 16 節)

神の前に、地は腐敗し、暴虐に満ちていた。人は与えられた自由を用いて、自分を驕り、他者を貶め、地上は罪と悪が蔓延するようになった。神はこの有様を見て、人を造ったことを悔やみ、心を痛めた。そこで、人をはじめ、全ての生き物を消し去ることを決意された。しかし、ノアは神と共に歩み、正しく、全き人であった。神はノアと妻、三人の息子夫婦たち 8 人を、裁きから救うことにされた。聖書では「神と共に歩む」ということが、人の全きことの証しである。死を見ることなく、天に移されたエノクも「神と共に歩み」と記されていた。神はノアに、「すべての肉なるものの終わりが、私の前に来ている。彼らのゆえに地は暴虐で満ちているからである。今こそ、私は地と共に彼らを滅ぼす」と、地上の生き物の絶滅を告げた。そして、ゴフェルの木で、三階建ての箱舟を造り、小部屋を設け、内側と外側にタールを塗りなさいと命じた。箱舟の大きさはアンマで指定されている。1 アンマは 45 cm で、舟の大きさをメートルに換算すると、長さが 135m、幅が 22.5m、高さが 13.5m である。「にっぽん丸」は全長 145m、幅 20m、10.770 トンだそうなので、箱舟と同じくらいの大きさである。ノアと三人の息子たちでは造ることができない大きさではないか。全ての生き物の雄と雌二匹ずつを入れるので、これくらいの大きさが要求されたのであろう。神は「私はあなたと契約を立てる。あなたは、息子たち、妻、息子の妻たちと一緒に箱舟に入りなさい」と言われ、共に生きるために、あらゆる生き物の雌雄一つがい、箱舟に入れ、また、食べることでできるあらゆるものを自分のもとに集めなさいと命じられた。地上の生き物は人間が生きるために必須のものなのである。神はノア一族を救うという契約を立てられた。この契約には、箱舟を造ることと、全ての生き物の一つがいを保護することが命じられている。ノアは神が命じられた通りに、全てを実行した。

箱舟が出来上がった時、神は「さあ、あなたと家族は皆、箱舟に入りなさい。この時代にあって私の前に正しいのはあなただと認めたからである」と言われた。神は、7 日の後、40 日 40 夜、地上に雨を降らせ、造った全ての生き物を地の面から消し去ると、洪水を予告された。ノアと妻、息子たちとその妻たちは箱舟に入った。また、清い動物、清くない動物、鳥、地上を這うあらゆるものが、雄と雌二匹ずつがノアのもとに来て、箱舟に入った。そこで、神は箱舟の後ろの戸を閉ざされた。神は後ろの戸をご自身で閉ざすことによって、ノア一家と生き物の加護を示されたのである。

周りの者たちは、神のみ告げを信じるノアの信仰を狂気と見なし、笑い者にしたことであろう。ヘブライ書 11 章 7 節で、「信仰によって、ノアはまだ見ていない事柄についてお告げを受けたとき、恐れかしこみながら、その家族を救うために箱舟を造り、その信仰によって世を罪に定め、信仰による義を受け継ぐ者となりました」と、ノアの神への従順な信仰を称えている。